

上越市長 中川 幹太 様

上越市議会議長 石田 裕一

市民と議会の意見交換会で聴取した市民意見への対応について

市議会では、上越市議会基本条例に基づき、市民と議会の意見交換会を11月5～10日に開催し、4会場で寄せられた43件の意見等について、課題調整会議においてその対応方針を協議いたしました。

つきましては、課題調整会議で行政運営の参考にしていただきたい「意見等」を整理しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、意見や対応方針等については、議会だよりや議会のホームページ等で公表しますのでご承知おきください。

記

1 行政運営の参考にしていただきたい意見等 【12件】

(1) 地域協議会委員の報酬について

「地域協議会委員の報酬が少ないのではと感じる。これでは地域の要望が吸い上げられないのでは。」(大島区)

(2) 地域協議会委員の報酬について

「重責を求めるのだから、報酬は出せるのではないか。」(大島区)

(3) 消防団の団員確保について

「消防団の団員確保について、先々が心配である。地域防災力が確保できていると言っているが、現状はどうなのか。訓練の内容が昔と変わっていない。規律を保つために大切なことかもしれないが、現在の若者に受け入れられるのか。若い人が率先して入団するような体質にしていくべきではないか。」(有田区)

(4) 消防団活動について

「知り合いの消防団の部長を務めていた人の話だが、消防団の活動に参加するための仕事の休暇を取りにくいと聞いた。行政から企業へ消防団の活動日程等を連絡して、団員が休暇を取りやすくなるよう連携してもらえないものか。また、実際に活動に参加しない幽霊団員にも手当が支払われるのはいかがなものか。」(有田区)

(5) ハウスを利用した農福連携について

「農福連携について、障害者の就農は季節によって作業量に偏りがあり大変だと思う。通年雇用を目指すには、ハウスを利用した農業経営が重要だ。(吉川区の)道の駅の東側にハウスができる余地があるので、地元などの理解があれば可能ではな

いかと考える。他地域では動物を飼っている例もあり、動物との触れ合いを取り入れるなどしたら地域の名物になり活性化にもつながると考える。ハウス利用を促進してほしい。」(吉川区)

(6) 除雪オペレーターについて

「除雪オペレーター確保のために、行政としてどのような支援を行っているのか。」(有田区)

(7) 融雪設備の燃料費の補助について

「高齢者世帯の除雪補助について。融雪設備は燃料費が高額になる。補助等できないか。」(大島区)

(8) 移住定住促進について

「長野県大町市の市営住宅の家賃は月額1万5,000円で、長野県に移住者が多いのはこれが理由だと思う。牧区にも住宅団地はあるが、合併時に家賃が旧市と一律になってしまい、なかなか入りにくいという声がある。移住定住を促進するために、どの区も移住者を呼べるほどの魅力や特色が無いのだから、住宅に目を向けて、市営住宅の家賃を安くしてはどうか。」(牧区)

(9) 県営事業の赤川排水路工事について

「県営事業の赤川排水路工事が途中で止まっており、約800メートルが残っている。先が見えない。難しいのは承知しているが、市議会としても今後の動きを確認し、事業が進むよう話をしてほしい。」(吉川区)

(10) 森林環境譲与税について

「森林環境譲与税は、山間地から行っていった方が良くはないか。」(大島区)

(11) 教職員のストレスについて

「教員の精神的なストレスによる休職が多いようだ。保護者への対応が負担となっているとの話も聞き、そういったことが教職員のストレスの原因ではないかと思うので、精査が必要ではないか。」(吉川区)

(12) 廃校になった校舎の活用について

「大浦安で中学校の統合があるが、浦川原には2校廃校になった校舎がある。月影の郷のようにもう少し活用してはどうか。」(大島区)